

静岡理科大学理工学部建築学科
公開シンポジウム静岡建築未来学
2021

2022. 3/4 fri. 3/5 sat. 14:30 - 17:30

ゲスト

3/4 fri. 古谷誠章 建築家/早稲田大学教授

3/5 sat. 栗生明 建築家/千葉大学名誉教授

モデレーター

田井幹夫 建築家/静岡理科大学准教授

コーディネーター・司会

飯田彩 編集者

それぞれの公共——みんなのけんちくとは

Nobuaki Furuya

Akira Kuryu

静岡理科大学理工学部建築学科は、2017年4月に新設された静岡県唯一の建築学科です。2019年度より、開かれた議論の場として、公開シンポジウム「静岡建築未来学」を開催しています。

コロナ禍を経て、リモートによるオンラインでの可能性が広がった一方で、直接会うこと、そしてみんなで集う空間自体の重要性がより見直されています。それはすなわち「公共」という言葉自体の意味を見直すことであり、「公共建築」がどこに向かっているのかを深く考える時期に来ているとも言えるでしょう。

今回のシリーズでは、本学にとって重要な位置づけとなる、建築学科（2017年開講）および土木工学科（2022年開講予定）の学科棟をそれぞれ設計いただいた古谷誠章氏と栗生明氏においていただき、それぞれの建築に込めた思い、そして両氏が考える「公共」の新しいあり方についてご講演いただきます。

この公開シンポジウムが、静岡県、東海地方から建築の未来を考え、発信する場となるよう、みなさまのご参加をお待ちしています。なお、新型コロナウイルスの感染予防のため、会場の定員を半分にしようとして、マスク着用、手指の消毒、換気等の対策を行って開催致します。



entree

会場 |

静岡理科大学 学生ホール

静岡県袋井市豊沢 2200-2

定員 | 50名（参加無料・申し込み制）

申し込み・問合せ | tailabo_all@sist.ac.jp

主催 | 静岡理科大学理工学部建築学科

監坂圭一 石川春乃 崔誠 田井幹夫 教員有志

助成 | 鈴与教育研究活動支援金運営委員会

協賛 | 総合資格学院、石川建設株式会社、有限会社エフ・ベース

*詳細は静岡理科大学ウェブサイトより

<https://www.sist.ac.jp>

登壇者プロフィール



古谷誠章 | Nobuaki FURUYA

1955年生まれ。1980年早稲田大学大学院修了。早稲田大学助手、近畿大学工学部講師を経て、1994年に早稲田大学理工学部助教授、八木佐千子とNASCAを共同設立。1997年早稲田大学教授。1986～87年文化庁芸術家在外研修員としてスイスのマリオ・ポッタ事務所に在籍。「詩とメルヘン絵本館」で1999年JIA新人賞、「茅野市民館」で2007年日本建築学会賞、2011年日本芸術院賞、「実践学園自由学習館」で2013年JIA日本建築大賞などを受賞。著書に『Shuffled - 古谷誠章の建築ノート』『建築家っておもしろい』『がらんどろ』『NOBUAKI FURUYA 179WORKS』他。2019年日本建築学会会長、2021年東京建築士会会長。



栗生明 | Akira KURYU

1947年千葉県生まれ。1973年早稲田大学大学院修了、横総合計画事務所入社。1979年Kアトリエ設立、東京大学建築学科助手。1983年文化庁芸術家在外研修員として1年間渡欧。1987年栗生総合計画事務所に改称。1992年千葉大学工学部建築学科助教授。1996年同大学教授。現在、栗生総合計画事務所代表取締役、千葉大学名誉教授。「榎村直己冒険館」で1996年日本建築学会賞、1998年公共建築百選、「平等院宝物館・鳳翔館」で2002年第43回建築業協会賞（BCS賞）、2003年日本芸術院賞受賞、「国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館」で2005年第8回アルカシア建築賞ゴールドメダル、2005年第19回村野藤吾賞、「伊勢神宮・式年遷宮記念せんぐう館」で2013年第54回建築業協会賞（BCS賞）、2013年第23回AACA賞優秀賞などを受賞。

田井幹夫 | Mikio TAI 建築家

1968年東京生まれ。大学卒業後、オランダのベルラーヘ・インスティテュートに留学。1994年～99年内藤廣建築設計事務所。「天心記念五浦美術館」を主に担当。1999年アーキテクトカフェ設立。住宅設計と共に公共建築のコンペにも数多く参加、入賞。2018年より静岡理科大学准教授。設計活動とともに建築教育にも重きを置く。「空間とアクティビティにおける中間領域」を研究テーマに据え、建築からまちづくりまで意欲的に関わる活動を行っている。

飯田彩 | Aya IIDA 編集者

東京都生まれ。武蔵野美術大学、千葉大学大学院で建築を学ぶ。2007～11年新建築社。2012年 Design Communicator 主宰。書籍の企画・編集、専門誌への寄稿、シンポジウムなどの学びの場づくりを通して、建築家やデザイナー、職人などのつくり手と社会をつなぐ編集活動を行っている。

[参加申し込み]

事前の申し込みが必要です。

件名を「静岡建築未来学参加申し込み」として、

- ①氏名
 - ②所属
 - ③メールアドレス
 - ④当日の連絡先
 - ⑤参加日（3/4・3/5いずれか、もしくは両日）
- を明記のうえ、以下のメールアドレス宛にメールをお送りください。申し込みは先着順で、定員に達し次第締め切ります。

□申し込み・問合せ | tailabo_all@sist.ac.jp

□締切 | 2022年3月2日(水)

[プログラム (両日共通)]

- 14:00 受付開始
- 14:30 開催趣旨・建築学科担当教員挨拶
- 14:45-16:15 ゲストによる講演
(3/4:古谷誠章、3/5:栗生明)
- 16:15-16:30 休憩
- 16:30-17:15 ディスカッション
- 17:30 閉場

主催 | 静岡理科大学理工学部建築学科
静岡県袋井市豊沢 2200-2
<https://www.sist.ac.jp/architecture/>

助成 | 鈴与教育研究活動支援金運営委員会
協賛 | 総合資格学院、石川建設株式会社、
有限会社エフ・ベース

総合資格学院

石川建設株式会社
www.ishikawa-cnst.co.jp



[会場]

静岡理科大学 学生ホール
静岡県袋井市豊沢 2200-2



静岡理科大学キャンパス

[交通アクセス]

□お車で
東名高速道路掛川インターより約20分、
袋井インターより約30分
(キャンパス内に駐車場100台あり)

□公共交通機関で

JR東海道線袋井駅よりバスまたはタクシーで10分
JR東海道線愛野駅南口よりスクールバスで10分、
タクシーで5分
JR東海道新幹線・東海道線掛川駅よりタクシーで20分

□臨時スクールバス

各日、愛野駅南口より臨時スクールバスを運行致します。
通常のスクールバスは運行しておりませんので、ご注意ください。

*愛野駅南口→静岡理科大学

13:50 / 14:10

*静岡理科大学→愛野駅南口

17:40 / 18:00



静岡理科大学建築学科棟 えんつりー
設計:古谷誠章+NASCA 施工:鈴与建設 撮影:浅川敏
コミッションング:脇坂圭一、丸田誠



静岡理科大学土木工学科棟 (2022年9月完成予定)
設計:栗生総合計画事務所 施工:鈴与建設

